

いのちの言の葉2009

富山県教育委員会平成21年度いのちのメッセージ発信事業

「いのちのメッセージ」

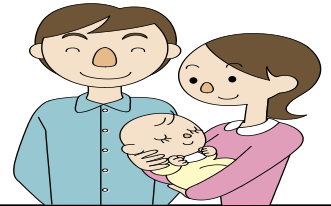
入善町立舟見中学校1学年生徒 9名
平成21年10月20日実施

【いのちの先生】

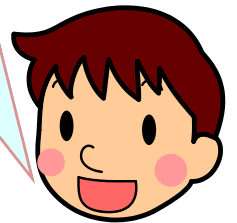
野澤 昌子 先生
・タンポポ助産院 助産師

【授業の概要】

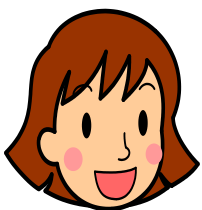
- 1 事前学習(道徳「生命の誕生ってすばらしい」・家族へのインタビュー)の振り返り
- 2 「いのちの先生」の話(野澤昌子先生)
 - (1) 生命誕生の神秘
 - (2) 大切ないのち
 - (3) 赤ちゃんとのふれあい



ぼくは今まで赤ちゃんを抱いたことがないので、少し緊張しました。実際に赤ちゃんを抱いてみると、とても温かかったです。それと、結構重いなど感じました。お母さん方の話を聞いて、「赤ちゃんは1時間動いて、2時間寝る」と言っておられました。ぼくは、とても大変だなと思いました。それと、「お父さんが何かしてくれたらうれしい」と言っておられました。ぼくがもしその立場だったら、手伝ってあげたいです。今日の話聞いて、新たないのちができるということは、とてもすばらしいことだと改めて感じました。



今まで人が生まれるということを簡単に考えていたので、野澤さんの話を聞いて、大変なことなんだなあと思いました。赤ちゃんはいつ生まれてくるか分からないので、夜でも休みの日でも仕事がある野澤さんは大変だと思います。私もみんなに見守られて生まれてきたのだと思うと、うれしくなりました。実際に赤ちゃんを抱かせてもらい、温かくて、すごくかわいかったです。野澤さんは、「一人一人誰にも負けないことが一つある」と言われました。私は自分が何に優れている分からないので、これから見つけたいと思います。



赤ちゃんを出産するのは、出産するときだけが大変なのかなと思っていたけど、妊娠してから出産するまでの期間も大変なんだと初めて知りました。受精するのは奇跡的なことというのも初めて知って、とてもびっくりしました。今まで生きてこられたことは、日本では当たり前だけど、他の国では1才までに死ぬ子どもが15%くらいいると聞いて、日本に生まれてよかったなと思いました。今日来てくださったお母さん方は、「子育てが楽しい」と言っておられました。それだけ赤ちゃんは、親にとってかわいい存在なんだなと思いました。